

近畿大阪 中小企業応援センター 第17回セミナー

ものづくり現場における改善の着眼点とその進め方

～演習を通じて「ものづくり現場の改善活動」を疑似体験～

アジア地域の工業化に伴い、我が国の製造業の世界シェアが低減傾向にある一方で、国内においては、資源環境問題の高まりや少子高齢化等が急速に進んでおり、こうした構造変化に伴う市場ニーズへの対応が求められるなど、我が国の製造業は多くの課題を抱えています。

今回のセミナーでは、ものづくり現場における改善活動について、産学連携を通じて専門的に研究を行っている大阪工業大学の「ものづくりマネジメントセンター」の講師陣が改善の着眼点と進め方について、演習を交えて分かりやすく解説します。

■ 第1講 「改善の原理・原則と演習による体験」 (30名様限定)

日 時: 平成23年 1月19日(水) 13:00~16:20

講 師: 工学部 技術マネジメント学科

ものづくりマネジメントセンター 准教授 皆川 健多郎 氏

■ 第2講 「ラインバランスと作業効率」 (30名様限定)

※セミナー当日は、電卓を必ずご持参ください。

日 時: 平成23年 2月 9日(水) 13:30~16:40

講 師: 工学部 ロボット工学科

ものづくりマネジメントセンター 教授 本位田 光重 氏

● プログラム

■ 第3講 「改善活動と経営成果」 (50名様限定)

※セミナー当日は、電卓を必ずご持参ください。

日 時: 平成23年 3月 2日(水) 15:00~16:30

講 師: 工学部 技術マネジメント学科

ものづくりマネジメントセンター 准教授 皆川 健多郎 氏

* プログラム詳細は見開き頁をご参照ください

● 会 場

大阪工業大学 大阪センター 「301・302」

* 会場地図は見開き頁をご参照ください

● お申込方法

裏面の参加申込書にご記入の上、裏面記載の宛先までFAXにてお送りください。

● 備 考

無料 各講 1社につき2名様までご参加いただけます。

大阪工業大学工学部 ものづくりマネジメントセンター

製造業における技術マネジメントの1つとして、①ものづくりの管理技術を広く研究すること、②ものづくりイノベーションを推進すること、③それらを担う人材を育成すること、④より効果的な指導法を開発し蓄積することを目的として設立された「ものづくり」教育のための学内専門機関。学部生と大学院生によるものづくり経営実践セミナーの開催や工場見学、地域の中小企業との連携による中核的な人材育成プログラムの実施、大阪商工会議所との連携(旭・城東・鶴見支部)、その他産学連携による共同研究等を通じて、人材の育成と供給に努めています。

第 1 講	改善の原理・原則と演習による体験	1/19(水) 13:00~16:20
--------------	-------------------------	---------------------

受講対象者	ものづくり現場の改善活動を始めたい、また、改めて改善活動を見直したい現場リーダーもしくは現場作業員
--------------	---

テーマ解説	現場改善を進めるには、まず問題を顕在化させることが重要です。 また、従来と違った視点で現場を見直すことにより、気付く点も多くあります。 今回は、その着眼点を養うために、ムダの概念、整理・整頓(2S)、動作経済の原則などについて、レゴブロックを使った演習も含めた講義を行います。
担当講師	大阪工業大学 工学部 技術マネジメント学科 ものづくりマネジメントセンター 准教授 皆川 健多郎 氏
講師プロフィール	1998年 大阪工業大学 工学研究科 博士後期課程 経営工学専攻単位取得後退学 1998年 大阪工業大学 工学部 助手 2003年 大阪工業大学 工学部 講師 2008年 大阪工業大学 工学部 准教授 2005年 2006年 経済産業省「産学連携製造中核人材育成事業」プログラムマネージャー 2009年 日本IE 文献賞・貢献賞 著書:「経営学」(共著、創成社)、「わかりやすい経営工学」(共著、理工図書) 他

第 2 講	ラインバランスと作業効率	2/9(水) 13:30~16:40
--------------	---------------------	--------------------

受講対象者	生産ラインのラインバランスで問題解決をしたい現場リーダーもしくは現場作業員
--------------	---------------------------------------

テーマ解説	どのようなものづくり現場でも、いかに生産リードタイムを短くするかは大変重要な問題です。 生産ラインの中に潜むムダを発見し、取り除けば生産リードタイムは短くなります。 本講義では生産方法とモノの流し方によって、生産効率がどのように変わるかについて、レゴブロックを使った簡単な演習を通じて理解を深めます。
担当講師	大阪工業大学 工学部 ロボット工学科 ものづくりマネジメントセンター 教授 本位田 光重 氏
講師プロフィール	1978年 大阪大学大学院 工学研究科 博士前期課程 産業機械工学専攻修了 1978年 (株)神戸製鋼所入社 1982年 大阪府立工業高等専門学校 助手 1994年 大阪府立大学 工学部 講師 1999年 大阪工業大学 工学部 助教授 2005年 大阪工業大学 工学部 教授 2009年 日本IE 文献賞・貢献賞

第 3 講

改善活動と経営成果

3/2(水) 15:00~16:30

受講対象者	改善活動を実施しているが、その評価方法について知りたいものづくり現場の責任者ならびに現場リーダーの方
テーマ解説	企業経営においては、「ヒト、モノ、カネ」といった経営資源を有効活用し、最大の成果を上げることが重要です。 ものづくり現場の改善活動は小さなことからコツコツと実施し、経営成果につなぐことが必要です。本講義では、これら活動の金額評価の基本的な考え方と経済的に有利な改善案の選択の仕方について、計算問題も交えて紹介いたします。
担当講師	大阪工業大学 工学部 技術マネジメント学科 ものづくりマネジメントセンター 准教授 皆川 健多郎 氏
講師プロフィール	1998年 大阪工業大学 工学研究科 博士後期課程 経営工学専攻単位取得後退学 1998年 大阪工業大学 工学部 助手 2003年 大阪工業大学 工学部 講師 2008年 大阪工業大学 工学部 准教授 2005年 2006年 経済産業省「産学連携製造中核人材育成事業」プログラムマネージャー 2009年 日本IE 文献賞・貢献賞 著書:「経営学」(共著、創成社)、「わかりやすい経営工学」(共著、理工図書) 他

アクセスマップ

大阪工業大学 大阪センター

大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ3F
電話:06-6346-6367
(毎日インテシオは毎日新聞ビル1Fとつながっています)

・JRでお越しの場合

「大阪駅」から徒歩 10分 「北新地」駅から徒歩 9分
「福島」駅から徒歩 5分 「新福島」駅から徒歩 7分

・地下鉄でお越しの場合

四つ橋線「西梅田」駅から徒歩 8分
御堂筋線「梅田」駅から徒歩 10分
谷町線「東梅田」駅から徒歩 15分

・阪神電車でお越しの場合

「梅田」駅から徒歩 10分
「福島」駅から徒歩 5分



・阪急電車でお越しの場合

「梅田」駅から徒歩 15分

1/19 第 17 回セミナー「ものづくり現場における改善の着眼点とその進め方」 参加お申込書

宛先 FAX 06-6945-2158

このままFAXでお送りください。

(近畿大阪 中小企業応援センター)

(ふりがな) 貴社名	()		
ご住所	〒		
T E L		F A X	
セミナー情報の 入手経緯 *該当する項目に○	1. 大阪工業大学からの案内をみて 2. 近畿大阪銀行からの紹介(支店名:) 3. りそな総研からの案内をみて 4. その他()		
ご参加者 *各講 1社につき2名様まで ご参加いただけます			
	第 1 講	第 2 講	第 3 講
(ふりがな) お名前	()	()	()
ご役職			
(ふりがな) お名前	()	()	()
ご役職			

私は貴社の個人情報に関する利用目的を確認、同意のうえ申込みします。

(*個人情報の取扱いについては、近畿大阪銀行のホームページ <http://www.kinkiosakabank.co.jp/kojinjoho/index.html> ならびにりそな総合研究所のホームページ <http://www.rri.co.jp/kojin/index.html> をご参照ください)

お問 合 せ ・ お 申 込 み 先

近畿大阪 中小企業応援センター 大阪市中央区城見 1 丁目 4 番 27 号

中小企業応援センター専用フリーダイヤル 0120-86-6160(平日 9:00~17:00) TEL(06)6945-4169(通話料有料)

主催: 近畿大阪 中小企業応援センター

後援: りそな総合研究所